

## 厚生労働省改革工程表（概要）

令和 4 年 9 月 1 6 日

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

# 厚生労働省改革工程表（概要）

## 1. 職員に対するキャリア支援

- キャリアや仕事の悩みなどを相談しやすい仕組みや環境整備
- 職員の意欲に応じた経験の提供

## 3. 執務環境の改善等

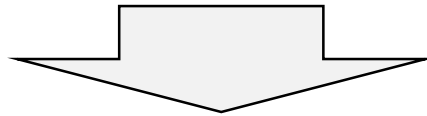
- 五号館における拡充スペースへの対応、執務室のオフィス環境の改善
- 健康づくりの取組推進

## 2. 業務効率化・柔軟な働き方の推進

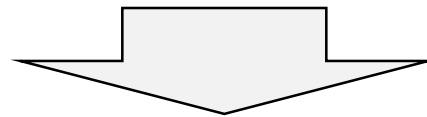
- 業務量自体の縮減の取組
- 自動化等による業務の効率化
- ナレッジマネジメント
- テレワークの推進及び環境整備

## 4. 幹部職員のリーダーシップによる組織変革

- 幹部職員のマネジメント力の強化等
- 良いアイデアを取り入れ、挑戦・変化していく組織風土の醸成
- 省内外のコミュニケーション活性化を進める広報改革



職員一人ひとりの意欲と能力の向上による組織力・政策立案能力の強化



**到達点：国民が求めるニーズに即応した真に責任を果たせる行政組織への変革**

# 厚生労働省改革工程表（概要）

## 1. 職員に対するキャリア支援

### (1) キャリアや仕事の悩みなどを相談しやすい仕組みや環境整備

#### ① 職場の上司による キャリア支援

- ・ 1 on 1 ミーティングの必要性・趣旨の省内周知、実施に向けた研修実施
- ・ 1 on 1 ミーティング実施のモデル部局の募集・実施、課題や効果的な実施方法等の共有
- ・ 人事評価における評価者による期末面談の実施の徹底 等

#### ② 職場の上司を超えた キャリア支援

- ・ 新規職員に対して、メンターによる支援を実施
- ・ R2'、R3'にメンティーだった職員へのアンケート調査、改善、各人事Gへの共有
- ・ 有志によるランチミーティング等、職員相互の交流の場の設定の推奨 等

#### ③ きめ細かな職員ケアの 体制整備

- ・ エンゲージメントサーベイ実施（入省8年目までの係長以下の職員を対象に毎月実施）
- ・ 実施結果を各人事Gに共有し、職員ケアに活用。各人事Gの活用状況等の把握・共有
- ・ 省全体・部局別のエンゲージメントスコアの省内への定期共有 等

#### ④ 人事課の体制整備

- ・ 必要に応じて、事務処理の統合・見直し、人員配置の見直し等を実施
- ・ 有事の際のより機動的な実員配置の調整方法等を引き続き検討 等

### (2) 職員の意欲に応じた経験の提供

#### ① 多様な勤務経験の機会

- ・ 現行省内公募（人事交流公募及び意欲・能力公募）の実施・検証・分析
- ・ 民間企業・NPOへの出向ポスト等に係る公募制の検討
- ・ 複数担当制等による配慮可能ポストの拡充 等

#### ② 多様な自己啓発の機会 （とびらポ）

- ・ 職員からの提案について、期間を設けて複数回募集・提案の具体化
- ・ 管理職等への制度の再周知、提案を受付やすい工夫の実施（よろず相談窓口等） 等

#### （EBPM若手・中堅プロ ジェクトチーム）

- ・ 公募等による毎年度構成員入れ替え、段階的に構成員を拡充
- ・ サブチームを設置し、分析結果をHP等で公表 等

## 2. 業務効率化・柔軟な働き方の推進

### (1) 業務量自体の縮減の取組

#### ① 部局間での情報交換の場の開催

- ・ 部局の業務改革推進チームメンバーが参画する情報交換の場を定期的で開催
- ・ 部局での先駆的な取組の横展開や部局横断的な改革提案等の情報共有 等

#### ② 業務のアウトソーシング

- ・ 外注化が有効な業務について、各局の業務改革推進チームと連携しつつ、ニーズの検討
- ・ ニーズ把握の結果、可能なものから外注化の検討・実施 等

#### ③ 国会業務の効率化・国会への協力要請

- ・ 国会業務の負担感・効率化の余地、国会シャトル便の活用状況等についてアンケート実施
- ・ 国会業務の効率化に取り組むとともに、国会に協力頂けることは何かを関係者と相談 等

### (2) 自動化等による業務の効率化

#### ① 次期省内LANの導入・活用【※1】

- ・ Web会議、グループチャット等の改善向上による業務効率化が可能な端末の展開
- ・ 好事例の収集及び横展開を始めとした各種機能の活用方法の積極的な周知
- ・ 利用者満足度調査等の結果等を踏まえた運用改善及び見直しの検討 等

#### ② RPA対応業務の拡充

- ・ RPA対象業務の拡大（汎用ロボットの開発、省内展開等）
- ・ 汎用ロボットの活用方法やRPA事業の実施結果、RPA導入に当たっての留意点等の周知 等

#### ③ BPR等を通じた業務効率化に向けた各種支援

- ・ 各部局業務におけるBPRを通じた業務見直しに対する支援
- ・ 支援した事例について各部局へ横展開 等

# 厚生労働省改革工程表（概要）

## 2. 業務効率化・柔軟な働き方の推進

### (3) ナレッジマネジメント

①チャットを活用したナレッジの共有【※1】

- ・次期省内LANで利用するWeb会議ツール（Teams）によるグループチャットを活用したナレッジの共有 等

②知見やノウハウが検索しやすい仕組み【※1】

- ・次期省内LANの機能を活用した省内知見の検索方法の周知
- ・各種マニュアルや実施している研修などの棚卸しを行い、分かりやすく格納 等

③コミュニケーションベースの引継ぎ

- ・人事異動前の業務の適切な引継ぎの周知
- ・内示次期の前倒し運用の継続 等

### (4) テレワークの推進及び環境整備

①行政文書のペーパーレス化【※2】

- ・電子媒体の保存等のルールの明確化、マニュアル整備
- ・デジタル庁におけるシステム機能追加を踏まえて電子公印を導入 等

②円滑にテレワークを実施できる環境整備【※2】

- ・厚生労働省テレワーク推進計画に基づく取組の推進、実施状況の把握・分析
- ・テレワーク実施状況のアンケート結果を踏まえた運用課題の検討
- ・サテライトオフィス（西ヶ原研修所）の試行運転状況の確認、運用方法の検証 等

③勤務時間管理のシステム化【※1】

- ・厚生労働省勤務時間管理システムの試行運用、次期省内LANシステム更改への対応 等

## 3. 執務環境の改善等

### (1) 五号館における拡充スペースへの対応、執務室のオフィス環境の改善

#### ① 五号館における拡充スペースへの対応【※2】

- ・ 拡充スペースの取扱いに係る基本方針の検討（若手チームと意見交換等）、方針決定・通知
- ・ レイアウト案の検討（他省庁見学、職員アンケート等） 等

#### ② 働きやすいオフィス環境の改善【※2】

- ・ オフィス環境改善に積極的に取り組む部局へのサポートの検討
- ・ フリーアドレス化を導入する部局の好事例の横展開、他省庁の状況調査
- ・ フリーアドレス化等の職場改善推進を目的とした職場改善コンペの検討 等

#### ③ 冷暖房の柔軟化

- ・ 冷房運転について、延長運転の申請期限の延長、一定期間の一括申請の導入
- ・ 暖房運転について、試行的な取組（20時以降の延長運転等）の本格実施 等

### (2) 健康づくりの取組推進

#### ① 健康づくりの取組推進

- ・ 前年度の取組（秋の健康プロジェクト（ウォーキング））を踏まえた取組の検討・実施 等

## 4. 幹部職員のリーダーシップによる組織変革

### (1) 幹部職員のマネジメント力の強化等

#### ① ハラスメント対策の強化

- ・ハラスメント防止の周知・啓発
- ・各種研修の実施（ハラスメント防止幹部研修、ハラスメント相談員研修等）
- ・相談・解決事例の収集・整理・分析 等

#### ② 超過勤務削減へのコミットメントを含むマネジメント力の向上【※3】

- ・新任課長研修の内容見直し検討、実施
- ・階層別研修におけるマネジメント研修の実施
- ・求められるマネジメントの内容を職員に定期的に周知 等

#### ③ 多面観察

- ・被評価者へのアンケート結果等を踏まえて、随時運用見直し
- ・多面観察の評価結果の活用方法を周知 等

### (2) 良いアイデアを取り入れ、挑戦・変化していく組織風土の醸成

#### ① 若手職員の政策立案への参画【※3】

- ・局議等に議題に関係する若手職員を参加させ、意思決定に関与する機会・経験を付与
- ・政策課題の方向性について幹部職員と若手職員とのフリーディスカッションの機会を設定
- ・若手職員が厚生労働行政に関する研究等の成果を発表する機会を設定 等

#### ② 外部人材の登用

- ・中途採用、任期付採用、官民交流及びその他公募等通じて多様な外部人材の登用を推進
- ・他省庁・自治体等の任期付採用、中途採用の実施状況を把握
- ・民間転職サイトの活用等、外部人材の登用の促進を検討・実施 等

#### ③ 厚生労働省デジタル人材確保・育成計画の推進

- ・厚生労働省デジタル人材確保・育成計画の改定
- ・政策立案・実行へのデジタルの活用について、原局での取組の課題等を収集
- ・把握した課題感等を踏まえて、デジタル人材確保・育成計画等への反映を検討 等

## 4. 幹部職員のリーダーシップによる組織変革

### (3) 省内外のコミュニケーション活性化を進める広報改革

#### ① 広報DX

- ・ 厚生労働省ウェブサイトの改善（情報のアーカイブ化と情報整理、CMS編集力向上等の検討）
- ・ SNS等外部メディアを通じた情報発信の強化
- ・ 利用者のニーズに応じた情報提供体制の拡充（LINEによるチャットボットでの情報提供）等

#### ② 「職員の思い」の発信

- ・ 「顔の見える広報」の継続発展（省内報の運用強化、省内報ミニ（メルマガ）の運用強化）
- ・ 危機管理広報マニュアルの作成 等

#### ③ デザイン力の強化

- ・ ピクトグラムの作成、PPTフォーマットの種類拡充
- ・ イラストレーターの継続活用（イラストの作成） 等

#### ④ 支援情報の伝達強化

- ・ 各局における広報改革の取組の共有・推進
- ・ オフライン広報の効果的な実施方法の検討・周知 等

◎関連項目として横串を通した対応・連携が求められるもの

※1:次期省内LANによる業務効率化関係

※2:柔軟で働きやすい職場環境整備関係

※3:チャレンジ精神あふれる組織風土の醸成関係